

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：国道・防災課
担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道482号 <small>さがりかや</small> 下蚊屋バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	鳥取県
起終点	自：鳥取県日野郡江府町下蚊屋 至：鳥取県日野郡江府町下蚊屋			延長	2.5 km	
事業概要	<p>一般国道482号は、京都府宮津市を起点とし、鳥取県米子市に至る延長約330kmの幹線道路である。下蚊屋バイパスは、一般国道482号の幅員狭小、線形不良等による交通隘路区間の解消を目的とした、鳥取県日野郡江府町下蚊屋地区の、延長2.5kmの2車線道路である。</p>					
H6年度事業化	都市計画決定なし		H6年度用地着手	H10年度工事着手		
全体事業費	約52億円		事業進捗率	37.8%	供用済延長	0.0km
計画交通量	1,300台/日					
費用対効果分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年		
	(事業全体) 0.7	(残事業)/(事業全体) 28/50億円 事業費：27/49億円 維持管理費：1/1億円	(残事業)/(事業全体) 37/37億円 走行時間短縮便益：35/35億円 走行費用減少便益：1/1億円 交通事故減少便益：1/1億円	平成15年		
感度分析の結果	<p>残事業（事業全体）について感度分析を実施</p> <p>交通量変動：B/C=1.5(0.8)（交通量+10%） B/C=1.2(0.7)（交通量-10%）</p> <p>事業費変動：B/C=1.2(0.7)（事業費+10%） B/C=1.5(0.8)（事業費-10%）</p>					
事業の効果等	<p>・国土・地域ネットワークの構築（現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する。）</p> <p>・個性ある地域の形成（大山・蒜山高原へのアクセス向上） 他9項目に該当</p>					
関係する地方公共団体等の意見	<p>江府町より、道路の交通安全はもとより、観光地へのアクセスを改善し、地域活性化を促す本事業の早期整備の要望を受けている。</p>					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<p>平成6年には鏡ヶ成休暇村、平成15年には鏡ヶ成キャンプ場がオープンし、当該区間が観光施設への主要ルートとなっている。</p>					
事業の進捗状況、残事業の内容等	<p>現在、終点側1km区間について工事を推進しており、平成16年度に改良工事が概成する予定である。残る工事未着手区間(L=1.5km)についても、コスト縮減を検討したうえで引続き着手することとしている。</p>					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<p>現地は山林であるため、公図が混乱しており、そのため用地買収に時間を要したが、事業効果の早期発現に向け事業進捗を図る。</p>					
施設の構造や工法の変更等	<p>工事未着手区間(L=1.5km)について、コスト縮減を現在検討中（現道を下り車線、バイパスを上り車線とするセパレート案による、幅員の大幅な見直しや大規模法面の縮減等）</p>					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	<p>現在工事中区間(L=1.0km)の早期供用に努める。残る工事未着手区間(L=1.5km)については、計画の変更等を含め、より一層のコスト縮減に務めるとともに、大山周辺の観光支援・地域の産業振興及び災害時の緊急輸送路確保などの間接的効果を具体的に検証し、再度工事着手時点で事業評価を行う事で、継続の答申を得ている。（平成16年2月9日 鳥取県公共事業評価委員会答申）</p>					
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。